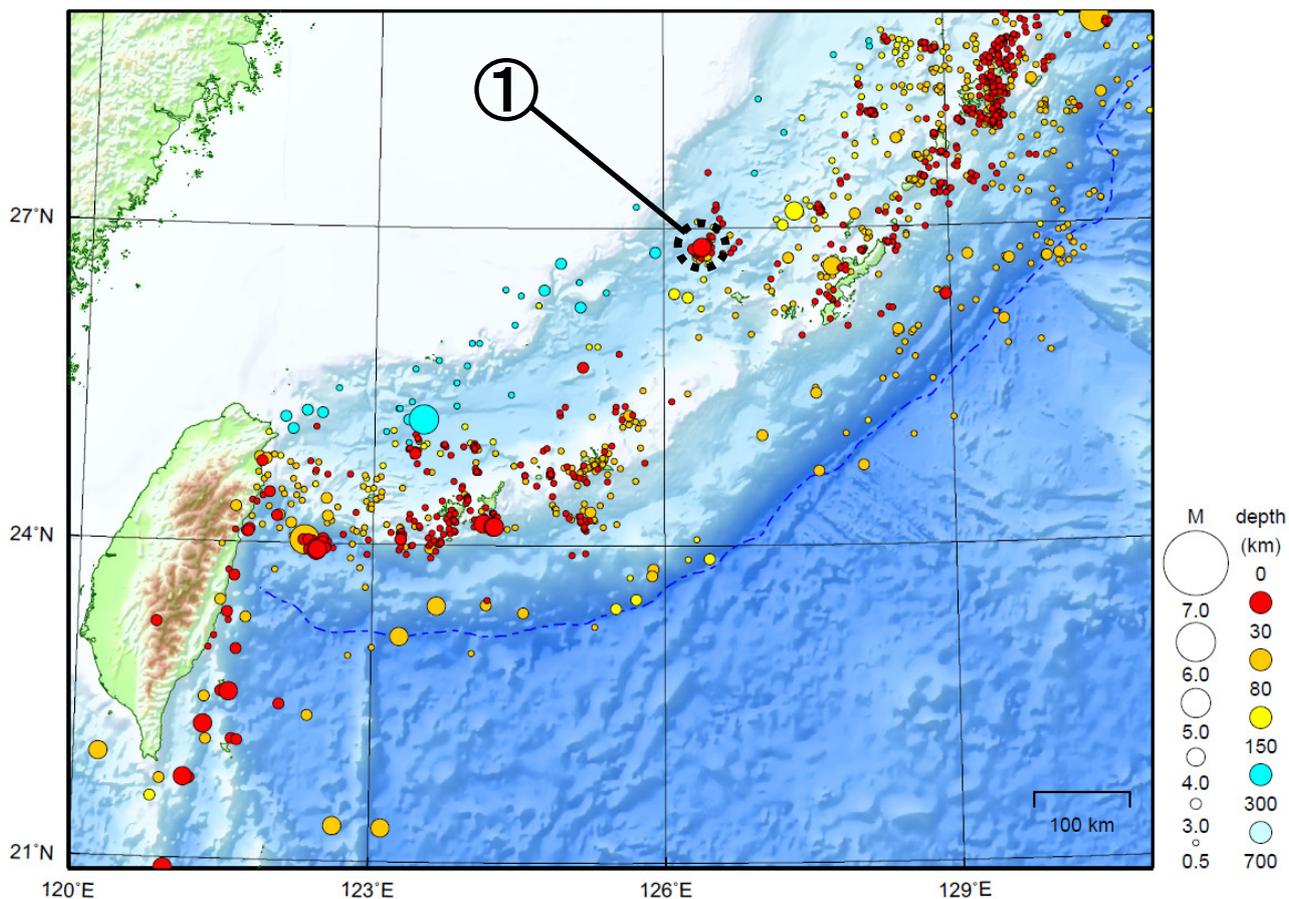


# 沖縄地方

2022/08/01 00:00 ~ 2022/08/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 沖縄本島北西沖では8月中に最大震度1以上を観測した地震が1回（震度1：1回）発生した。

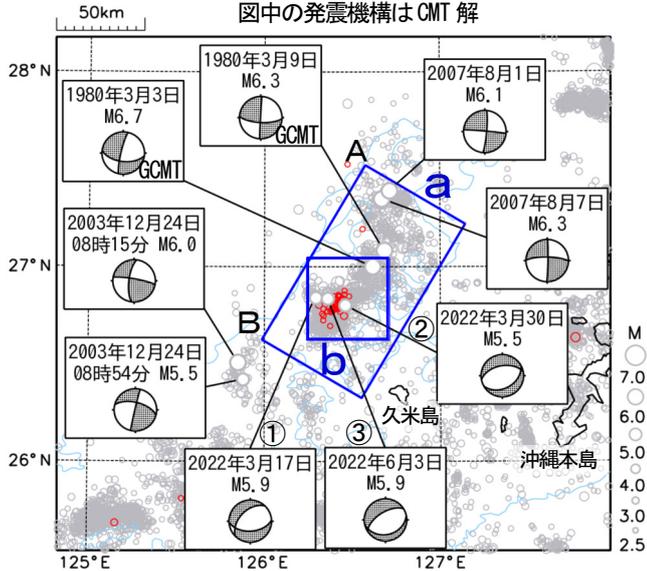
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 沖縄本島北西沖の地震活動

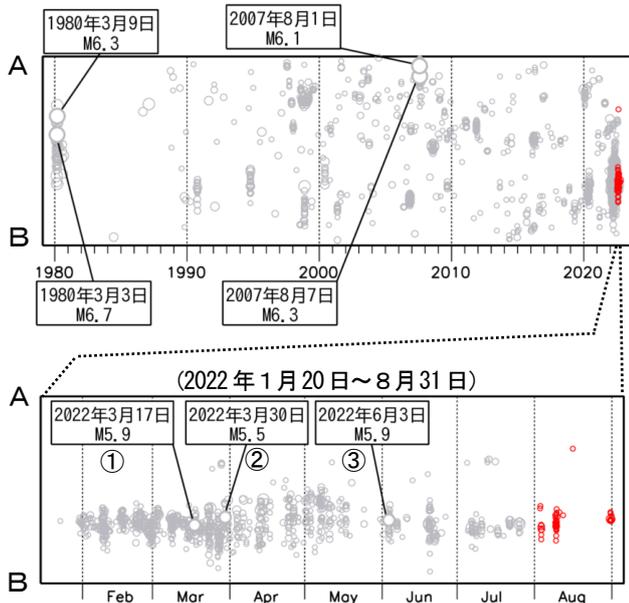
## 震央分布図

(1980年1月1日～2022年8月31日、  
深さ0km～60km、M $\geq$ 2.5)  
2022年8月の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解

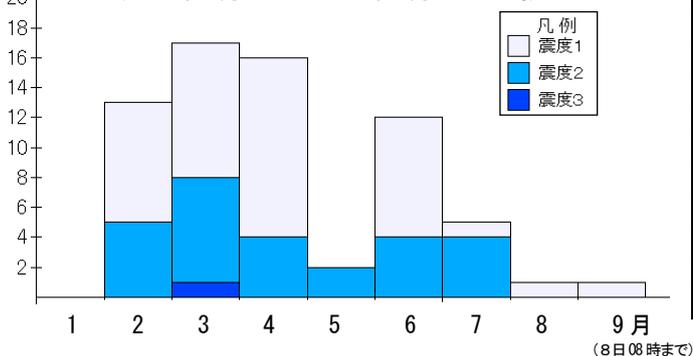


図中の水色の等値線は水深1500mを示す。  
※1980年3月3日及び3月9日の地震の発震機構はGlobal CMT

## 領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



## 震度1以上の月別最大震度別地震回数図

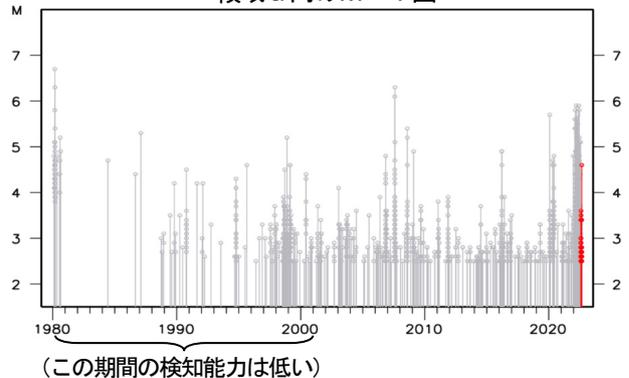


沖縄本島北西沖では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、9月8日08時まで震度1以上の観測する地震が67回 (震度3:1回、震度2:26回、震度1:40回) 発生している。この間、地震活動は消長を繰り返しながら継続しているものの、8月中旬以降は活動が落ち着きつつある。

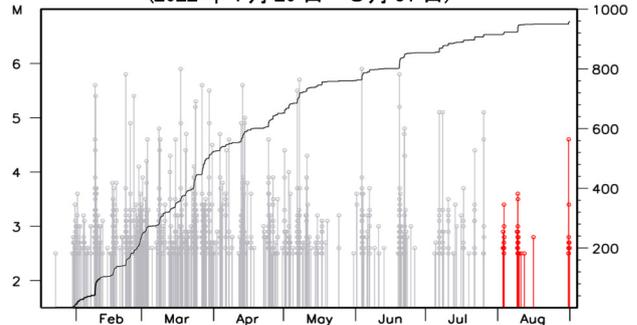
活動の全期間を通じて、最大規模の地震は3月17日及び6月3日のM5.9の地震 (いずれも最大震度2、それぞれ図中①、③)、最大震度を観測した地震は3月30日のM5.5の地震 (最大震度3、図中②) であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980年2月から3月にかけて活発化した際には、同年3月3日にM6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

## 領域a内のM-T図



## 領域b内のM-T図及び回数積算図



## 震度1以上の月別最大震度別地震回数表

月別	最大震度別回数			震度1以上を観測した回数	
	震度1	震度2	震度3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月	8	5	0	13	13
3月	9	7	1	17	30
4月	12	4	0	16	46
5月	0	2	0	2	48
6月	8	4	0	12	60
7月	1	4	0	5	65
8月	1	0	0	1	66
9月 (~8日08時)	1	0	0	1	67
総計	40	26	1		67